

奈良教育大学 教職大学院

大学院教育学研究科（専門職学位課程）教職開発専攻
School of Professional Development in Education

令和4年4月
奈良教育大学教職大学院は、
新しく生まれ変わります！



入学定員

25名から
50名に拡大！

教科領域や
幼年教育領域

を新たに
取り入れます！

情報活用能力
やESDの推進等
最新の教育課題に
対応！

設置計画申請中

※本資料の内容は、計画段階のものであり、変更されることがあります。



コース



教職大学院では・・・

1. 教育課題を探求し解決できる研究力と高度な実践力を育みます。
2. 自らが掲げた「身に付けたい資質・能力」を育みます。
3. 専門的知見と実践力を生かし、これからの新しい学校教育を牽引できる高度な実践力を育みます。

学びの3コース

「求める教師像」を実現させるための教育課程の括りとして、次の3コースを設けています。



学校教育マネジメント コース

身に付ける力

【ストレート院生】

- 学級経営、ESD（持続可能な開発のための教育）、ICTに関わる高度な実践力

【現職教員院生】

- 学校経営、学級経営、ESD（持続可能な開発のための教育）、ICTについて学校全体を牽引し、学校や地域、教育行政において指導的役割を果たすことのできる高度な実践力

学べる領域

- 学校組織マネジメント
- 学級づくり・特別活動マネジメント
- ESDマネジメント
- 教育情報化マネジメント



教育発達支援 コース

身に付ける力

【ストレート院生】

- 生徒指導、学校カウンセリング、幼年教育、インクルーシブ教育に関わる高度な実践力

【現職教員院生】

- 生徒指導、学校カウンセリング、幼年教育、インクルーシブ教育について学校（保育所、こども園を含む）全体を牽引し、学校や地域、教育行政において指導的役割を果たすことのできる高度な実践力

学べる領域

- 生徒指導・学校カウンセリング
- 幼年教育
- インクルーシブ教育



教科教育 コース

身に付ける力

【ストレート院生】

- 教科等指導に関わる高度な実践力

【現職教員院生】

- 教科等研究を推進し、学校や地域、教育行政において指導的役割を果たすことのできる高度な実践力

学べる領域

- 言語・社会科学
国語、社会、英語、小学校外国語
- 理数・生活科学
算数・数学、理科、技術、家庭科
- 芸術・保健体育
音楽、美術、書道、保健体育

プログラム(長期在学コース)



小学校教員免許取得プログラム

教員免許状を有していない入学者及び小学校（二種）、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有し修了時に小学校教諭専修免許状の取得を希望する入学者を対象として、「小学校教員免許取得プログラム」を開設します。

コース種別	コース内容
3年コース	原則として1年次に小学校教諭一種免許状取得に必要な授業科目を履修し、2年次、3年次において、通常の教職大学院の教育課程を履修します。
4年コース	原則として1・2年次に小学校教諭一種免許状取得に必要な授業科目を履修し、3年次、4年次において、通常の教職大学院の教育課程を履修します。

※修学期間に応じた授業料が必要です。

※修学期間は、小学校教諭一種免許状の取得に必要な単位数に応じて、3年或いは4年となります（目安としては、幼中高の教諭の普通免許状を取得済みの場合は3年、それ以外は4年となります。）。

特別支援学校教員免許取得プログラム

小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有している者のうち、特別支援学校教諭一種免許状の取得を希望する入学者を対象として、「特別支援学校教員免許取得プログラム」を開設します。

コース種別	コース内容
3年コース	1年次に特別支援学校教諭一種免許状取得に必要な授業科目を履修した後（ただし、「障害児教育実習（事前・事後指導を含む）」は2年次に履修。）、2年次、3年次において、通常の教職大学院の教育課程を履修します。

※修学期間に応じた授業料が必要です。



カリキュラム

奈良教育大学教職大学院では
『持続可能な社会づくりの担い手』を育成できる
高度な専門性と実践力を兼ね備えた教員を養成します！

教職大学院のカリキュラムは次のとおりです。

修了要件は、専攻共通科目（共通5領域）16単位以上、実践科目14単位以上、研究科目4単位、専門科目12単位以上の計46単位以上の修得です。

専攻共通科目（共通5領域）

科目群	開講科目
教育課程の編成及び実施に関する領域	ESD-SDGsの理論と実践 教育課程の開発と改善 特別支援教育の教育課程論
教科等の実践的な指導方法に関する領域	指導と評価の一体化 道徳教育の理論と実践 ユニバーサルな授業デザイン
生徒指導及び教育相談に関する領域	生徒指導と子どもの心 発達理論と教育実践 発達障害児の理解と支援
学級経営及び学校経営に関する領域	学級経営の基礎・基本 学校組織とアカウンタビリティ 特別支援教育と学校・学級経営
学校教育と教員の在り方に関する領域	教師の発達とキャリア教育 学校危機管理論 インクルーシブ教育原論

実践科目

実習科目
課題探求実習
課題解決実習A
課題解決実習B(特別支援教育)
へき地学校実習

演習科目
遠隔教育実践演習
デジタル教材作成演習
学習の基盤力向上のためのICT活用演習
STEAM教育演習
授業力応用演習
授業力基礎演習

研究科目

- ・課題研究Ⅰ
- ・課題研究Ⅱ

カリキュラム

専門科目

科目群	開講科目	科目群	開講科目
学校教育 マネジメント 科目	カリキュラム・マネジメント実践論 教師の成長と授業研究 地域とつくる学校 学級・学校づくりと特別活動 学級経営実践論 学級集団づくりの実践分析研究 ESDと総合的な学習の時間特講 ESDカリキュラムマネジメント ESDと地域創生 SDGsフィールドワーク ESDと郷土教育・総合学習 学校教育の情報化特論 教育のためのデータサイエンス 体系的なプログラミング教育 授業支援ツールを活用した授業設計	教科教育 科目	教科の原理と授業づくり(英語) 教科内容と教材開発(テキストをスピーキングに活かす) 教科内容と教材開発(テキストをライティングに活かす) 教科内容と教材開発(英文法指導) Organizing your classroom talk and assignments effectively 教科の原理と授業づくり(小学校外国語) ICTを含む授業実践(小学校外国語・英語) 教科内容と教材開発(小学校外国語) 教科の原理と授業づくり(算数・数学) ICTを含む授業実践(算数・数学) 教科内容と教材開発(解析) 教科内容と教材開発(確率・統計) 教科内容と教材開発(コンピュータ・応用数学) 教科内容と教材開発(代数) 教科内容と教材開発(幾何) 教科の原理と授業づくり(理科) ICTを含む授業実践(理科) 教科内容と教材開発(理科:物理分野) 教科内容と教材開発(理科:化学分野) 教科内容と教材開発(理科:生物分野) 教科内容と教材開発(理科:地学分野) 教科の原理と授業づくり(技術) ICTを含む授業実践(技術) 教科内容と教材開発(技術:電気情報分野) 教科内容と教材開発(技術:栽培分野) 教科の原理と授業づくり(家庭科) ICTを含む授業実践(家庭科) 教科内容と教材開発(生活デザイン領域) 教科内容と教材開発(生活科学基礎実験領域) 教科内容と教材開発(健康生活領域) 教科の原理と授業づくり(音楽) ICTを含む授業実践(音楽) 教科内容と教材開発(鑑賞・創作) 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ) 教科内容と教材開発(表現領域・声楽) 教科の原理と授業づくり(図画工作・美術) ICTを含む授業実践(図画工作・美術) 教科内容と教材開発<絵画分野・絵に表す一平面的な造形表現> 教科内容と教材開発<工芸分野・デザイン分野・工作に表す一用途のある造形表現> 教科内容と教材開発<彫刻分野・立体に表す・造形遊び一立体的な造形表現> 教科の原理と授業づくり(書道) ICTを含む授業実践(書道) 教科内容と教材開発(漢字書法) 教科内容と教材開発(書道史) 教科内容と教材開発(書道作品鑑賞) 教科の原理と授業づくり(保健体育) ICTを含む授業実践(保健体育) 教科内容と教材開発(運動領域) 教科内容と教材開発(体育理論領域) 教科内容と教材開発(保健領域)
教育発達 支援科目	学校教育と心理学 子どもの「学び」と心理学 教育と臨床 子どもの発達の理解と支援 学校臨床の理論と実践 学級集団と心理学 教育支援と子どもの権利 学級集団のアクションリサーチ 子どもの権利を踏まえた教育支援の実践 保育・幼児教育の内容論と実践の展開 幼小連携・接続の理論と実践の展開 幼年教育の理論と実践 魅力ある幼稚園・保育所・こども園等の運営 幼年心理の理論と保育 幼児理解を深めるための実践研究 子ども家庭福祉の理論と実践 子育て支援の理論と実践 保育・幼児教育の質の確保と向上 保育・幼児教育の質的研究 LD児・ADHD児の理解と支援 特別支援教育の生理・病理 重度障害児の理解と支援 特別支援教育アセスメント事例研究 特別支援教育コーディネーター論 特別支援教育のシステム論 特別支援教育の心理学 自閉症児の理解と支援		
教科教育 科目	ESDとしての教育実践(言語・社会科学領域) ESDとしての教育実践(理数・生活科学領域) ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領域) 教科の原理と授業づくり(国語) ICTを含む授業実践(国語) 教科内容と教材開発(古典文学)Ⅰ 教科内容と教材開発(古典文学)Ⅱ 教科内容と教材開発(近代文学)Ⅰ 教科内容と教材開発(近代文学)Ⅱ 教科内容と教材開発(語彙・文法) 教科内容と教材開発(音声言語) 教科の原理と授業づくり(社会) ICTを含む授業実践(社会) 教科内容と教材開発(社会・地理歴史Ⅰ) 教科内容と教材開発(社会・地理歴史Ⅱ) 教科内容と教材開発(社会・公民Ⅰ) 教科内容と教材開発(社会・公民Ⅱ)		

教職大学院の特徴

学校実習

連携協力校の子どもたちと関わる実習を通じて、教師としての力量を培います。

理論と実践の往還を体現する活動が学校実習です。

課題探求実習

幅広い校務経験・指導補助等を通して教育課題の探求・分析を行うとともに、授業実践を10時間程度行い、課題解決実習の基礎となる授業力の向上を目指します。

課題解決実習

幅広い校務経験・指導補助等を通して教育課題を追究するとともに、学位研究報告に関連した授業実践を行い、分析・検証します。



※現職教員については、一定の審査を経て、一部が免除されることがあります。

十津川サマースクール（へき地学校実習）



日本一広い村、十津川村で、小学校高学年の希望児童を対象に、夏期休業中に3日間、「十津川サマースクール」を開校します。「へき地学校実習(2単位)」では、院生自らがこのサマースクールを計画し運営し評価する取組を行います。

「子どもたちに学ぶ楽しさを伝える」ことを目指し、既存の教材に頼らず、院生同士で協働して各教科の授業を作り上げます。また、授業の時間割や開校式、登下校の安全指導、朝の会、帰りの会、食事指導、休み時間の交流など、すべて院生の手作りです。

十津川村教育委員会との共催行事として実施しています。

教員採用試験サポート

教員採用試験をイメージしながら仲間と共に切磋琢磨し、100%の合格を目指しています。

院生それぞれが履修獲得した知識やスキルを具体的な場面に即して発揮できるようになることを目指した、教育実践力の向上のための自主的な学びの場を設けることや、模擬授業、面接練習、実技試験対策の実施等を行っています。



進路状況

令和2年度修了者(現職教員を除く)の92.3%が教員に採用されています。

〈これまでの主な赴任先〉

奈良県公立小学校	奈良県公立中学校	奈良県立高等学校	奈良県立特別支援学校	奈良県私立小学校
奈良県私立高等学校	大阪府公立小学校	大阪府公立中学校	大阪府立高等学校	京都府立高等学校
京都市立小学校	和歌山県公立小学校	滋賀県公立小学校	三重県公立中学校	兵庫県公立小学校
神戸市立高等学校	長野県立特別支援学校	岐阜県公立小学校	神奈川県立高等学校	栃木県公立中学校
愛知県公立小学校	愛知県公立中学校	静岡県公立小学校	静岡県公立中学校	香川県公立小学校
岡山県公立小学校	大分県公立小学校			

夜間開講

従来の大学院設置基準第14条の特例を受ける現職教員の履修方法（1年次フルタイム・2年次定期通学）に加え、勤務しながらでも教職大学院の学びが可能となるよう、**現職教員を対象に、令和4年度から教職大学院における夜間開講を開始します。**

院生の学びモデル(2年間のスケジュール)

ストレート院生

<1年>

専攻共通科目・専門科目

演習科目

課題発見

課題探求実習

(選択) へき地学校実習

課題研究

<2年>

専門科目

課題追究

課題解決実習

課題研究

学位研究報告書

現職教員

<1年>

専攻共通科目・専門科目

演習科目

課題追究

(選択) へき地学校実習

課題研究

<2年>

専門科目(集中)

置籍校等

課題追究

課題解決実習

課題研究

学位研究報告書

奈良県教員採用候補者選考試験合格者特例

<1年>

専攻共通科目・専門科目

演習科目

課題発見

課題探求実習

(選択) へき地学校実習

課題研究

<2年>

専門科目(集中)

初任校

課題追究

課題解決実習

課題研究

学位研究報告書

教育実践力養成プログラム

※現職教員の2年次の履修形態について

(1)大学院設置基準第14条特例の適用を受ける現職教員の場合

2年次に置籍校等に戻った場合、通常の勤務をしながら土日や夏季及び冬季の休業期間中に開講する授業科目を受講したり、研修日を決めて担当教員から指導を受けたりすることができます。2年次の科目である「課題解決実習IIA(またはIIB)」では、担当教員が定期的に置籍校等に出向いて指導を行います。なお、2年次について、奈良県教育委員会からの大学院等派遣研修による現職教員は、別に定めるところにより履修することになります。

(2)大学院修学休業制度の適用を受ける現職教員の場合

2年次も通常の大学院の教育課程に従って履修します。

奈良県公立学校教員採用候補者選考試験合格者に対する特例措置

奈良県公立学校教員採用候補者選考試験合格者（小学校及び特別支援学校に限る）に対する特例措置があります。

奈良県公立学校教員採用候補者選考試験における加点

教採試験合格
に有利！

奈良県教員採用試験 1 次試験に合格し、かつ**本学教職大学院の一般選抜（7 月募集）**を受験し合格すれば、奈良県教員採用試験 2 次試験において加点を受けます！

※教職大学院への入学を辞退した場合や退学をした場合は、採用が取り消されることがあります。

入学試験における特例

受験の負担
軽減！

一般選抜（1 1 月募集）における選抜方法の特例があります！

【奈良県教員採用試験合格者に対する選抜特例】
学力検査科目は、口述試験〈個人面接〉及び筆記試験〈小論文〉のみとします。
（口述試験〈グループ討論〉及び実技試験〈模擬授業〉を免除します。）



教育方法の特例

【奈良県公立学校教員採用候補者選考試験合格者である学生に対する教育方法の特例措置】があります！

入学時点で奈良県公立学校教員採用候補者選考試験（小学校及び特別支援学校に限る。）に合格している学生に対して、大学院設置基準第 1 4 条に定める教育方法の特例措置を設けています。

修業年限 2 年のうち、
第 1 年次は学業に専念し、通常の形態の授業と担当教員の指導を受けます。
第 2 年次は、教員として採用され、小学校又は特別支援学校で勤務しながら、担当教員の指導と休業期間中等の授業を受けることができます。

※教育方法の特例措置の適用を受けられる者は、「一般選抜・社会人特別選抜（7 月募集、9 月募集及び 1 1 月募集）及び学内・学外・連携大学特別選抜（1 1 月募集）」による合格者となります。

※教員採用試験合格後に、奈良県教育委員会において、必ず、採用留保の手続きを行う必要があります（採用留保の手続きについては、令和 3 年 1 2 月 2 2 日（水）必着。詳細は、「令和 4 年度奈良県・大和高田市・県立大附属高公立学校教員採用候補者選考試験受験案内」を参照してください。）

奈良県公立学校教員採用候補者選考試験合格者に対する特例措置

授業料の免除等

- ・ 2年目の授業料は免除されます。
- ・ 1年目の授業料を2年目に支払うこともできます。



身につけられる力量

- ・ 1年目は、奈良県内の教育を深く知り、初任者としての自信を身に付けることができます。
- ・ 2年間を通じ、初任者として必要な力量を付けることができます。
- ・ 奈良県の喫緊の課題に対応する、特別なプログラムを開講します。

【現在構想中の特別なプログラムの例】

【担当予定教員の声】

教育DX実践力養成プログラム

奈良県域で採用されているクラウドコンテンツや統合型校務支援システムなどを活用したGIGAスクール構想を推進し、教育データ等を活用して授業や校務を行う実践力を高め、公正に個別最適化された創造性を育むための今とこれからの教育のあり方について研究するとともに、授業及び教育活動全般に関わる高度な教育実践力を養います。

デジタルテクノロジーは目的があってはじめて有効な手段となります。一緒に教育DXの実践力を身につけて、子どもたちと一緒に未来を夢見る先生になりましょう。

小学校外国語教育実践力養成プログラム

英語運用能力向上のためのトレーニングや外国語活動・外国語科に積極的に取り組んでいる学校における授業実践等を通じて、学校や地域をリードする力量の獲得を目指し、英語運用能力の向上と授業実践力の育成を図ります。

理論の学びを土台に、英語運用能力と授業実践力の向上を図ります。また、専科教員、ALT、海外の学生など外国語教育に関わる多様な人々との交流をとおして学びを深めましょう。

特別支援教育力養成プログラム

特別支援教育にかかる優れた取組を行っている小学校や特別支援学校における実習等を通じて、全ての子どもの学びの質を高めるために「適切な指導」と「必要な支援」の在り方を追究します。

その子の学びを保障し、周りの子の成長も促し、そして...全ての子どもが輝く。そういう「特別でない」特別支援教育の牽引役をめざしましょう。

担当教員

カリキュラム・マネジメント

赤沢 早人 教授

地域生涯学習

片岡 弘勝 教授

教師教育学・授業研究

中井 隆司 教授

学習指導と評価

山本 敏久 教授

教育評価

北川 剛司 准教授

学習指導

大橋 輝雄 特任准教授

学校経営

阪部 清 特任准教授

学習指導

廣岡 敏美 特任准教授



教育社会学

粕谷 圭佑 准教授

特別活動

柿本 篤子 特任准教授

学級経営

田中 幸臣 特任准教授

学級経営

米谷 幸 特任准教授



郷土教育・総合学習

板橋 孝幸 教授

地理学・ESD

河本 大地 准教授

ESD

中澤 静男 准教授

ESD

大西 浩明 特任准教授



情報教育

伊藤 剛和 教授

情報教育

古田 壮宏 教授

教育DX・情報教育

小崎 誠二 准教授

教師教育

竹村 謙司 准教授



学校心理学

粕谷 貴志 教授

キャリア教育

河崎 智恵 教授

臨床心理学

市来百合子 教授

教育社会心理学

出口 拓彦 教授

教育心理学

石井 僚 准教授

発達心理学

中山留美子 准教授



幼年教育

廣瀬 聡弥 教授

保育内容

横山真貴子 教授

幼年心理

大西 賢治 准教授



特別支援教育

越野 和之 教授

特別支援教育

全 有耳 教授

特別支援教育

堀田 千絵 准教授

子どもの発達

富井奈菜実 講師

特別支援教育

木下 理恵 特任教授

国語科教育

棚橋 尚子 教授

日本近代文学

日高 佳紀 教授

日本古典文学

有馬 義貴 准教授



日本古代・中世史

今 正秀 教授

ドイツ現代史

西田 慎 教授

都市地理学

根田 克彦 教授

社会学

渡邊 伸一 教授

社会科教育

太田 満 准教授

法律学

奥田 喜道 准教授

哲学・倫理学

梶尾 悠史 准教授



英米文学

門田 守 教授

教室第2言語習得

佐藤臨太郎 教授

英語教授法

前田 康二 教授

実践英語教育

アムンルト・トーマス
マーティン 准教授

英語学

米倉 陽子 准教授

担当教員

応用数学

伊藤 直治 教授

可換代数学

川崎謙一郎 教授

数学科教育

近藤 裕 教授

解析学

高橋 亮 准教授

数学科教育

舟橋 友香 准教授

理科教育

石井 俊行 教授

細胞生物学

石田 正樹 教授

高分子化学

梶原 篤 教授

森林生態学

辻野 亮 教授

固体物理学

常田 琢 教授

固体物理学

中村 元彦 教授

水圏環境科学

藤井 智康 教授

素粒子論

松山 豊樹 教授

理科教育

森本 弘一 教授

有機化学

山崎 祥子 教授

火山地質学

和田 穰隆 教授

生理生態学

小長谷 達郎 准教授

天文学・宇宙物理学

信川 正順 准教授



電気工学

藪 哲郎 教授

技術科教育

世良 啓太 准教授

栽培学

箕作 和彦 准教授



食物学

杉山 薫 教授

家庭経営学

立松 麻衣子 教授

保育学

中川 愛 准教授

家庭科教育

村上 睦美 准教授



ピアノ演奏法

*前田 則子 教授

音楽科教育

劉 麟玉 教授

作曲・指導法

北條 美香代 准教授

声楽

水野 亜歴 准教授



造形・図画工作・美術

宇田 秀士 教授

美術科教育

竹内 晋平 教授

絵画

狩野 宏明 准教授

工芸(陶芸)

原山 健一 准教授



書道教育・書道理論

*谷川 雅夫 教授

漢字書法

豊田 宗児 教授



学校保健・スポーツ医学

笠次 良爾 教授

体育社会学

高橋 豪仁 教授

体育学

井上 邦子 准教授

学校保健

高木 祐介 准教授

運動学

立 正伸 准教授

保健体育科教育

宮尾 夏姫 准教授



*の記載されている教員は令和4年3月退職予定の教員です。退職後は後任の教員を補充する予定です。



その他

標準修業年限

2年（ただし、「小学校教員免許取得プログラム（3年又は4年コース）」又は「特別支援学校教員免許取得プログラム（3年コース）」受講者は3年又は4年）

学位の種類

教職修士（専門職）

取得できる教員免許状

- ・幼稚園教諭専修免許状
- ・小学校教諭専修免許状
- ・中学校教諭専修免許状

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、外国語（英語、ドイツ語、フランス語）、宗教

- ・高等学校教諭専修免許状

国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、情報、農業、工業、商業、水産、福祉、商船、職業指導、外国語（英語、ドイツ語、フランス語）、宗教

- ・特別支援学校教諭専修免許状

（知的障害者、肢体不自由者、病弱者）

※取得しようとする専修免許状にかかる一種免許状を有する場合があります。

※教職課程認定申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

入学定員

50名

授業料

入学料282,000円（予定）

授業料535,800円（前期267,900円・後期267,900円）（予定）

詳細は下記にお問い合わせください。

奈良教育大学 〒630-8528 奈良市高畑町

入試に関すること【入試課】

TEL：0742-27-9126

E-mail：nyuusi@nara-edu.ac.jp

授業内容に関すること【教務課】

TEL：0742-27-9322

E-mail：kyoumu@nara-edu.ac.jp

設置計画に関すること【企画連携課】

TEL：0742-27-9296

E-mail：kikakugr@nara-edu.ac.jp

